

令和6年8月30日

令和6年

第2回教育委員会臨時会会議録

大田区 池上会館集会室

令和6年8月30日（金曜日）午後3時から

1 出席委員（6名）

小黒仁史	教育長
三留利夫 委員	教育長職務代理者
弘瀬知江子 委員	
高橋幸子 委員	
深澤佳己 委員	
北内英章 委員	

2 出席職員（20名）

教育総務部長	今井健太郎
参事（教育施設担当）	河原田光
教育総務課長	鈴木孝司
教育施設担当課長	小野澤行平
副参事（教育施設調整担当）	小池武道
副参事（教育地域力担当）	長岡誠
学務課長	高野恭子
指導課長	細田真司
学校支援担当課長	鈴木啓介
教育センター所長	早田由香吏
大田図書館長	後藤清
指導課 統括指導主事	中治謙一
指導課 統括指導主事	秋山亮
指導課 統括指導主事	折田和宙
指導課 指導主事	宮澤尚
指導課 指導主事	江袋勇樹
指導課 指導主事	村松千恵子
指導課 指導主事	原口慧史
指導課 指導主事	清水天音
指導課 指導主事	桑原宏一

3 日程

日程第1 令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

日程第2 「議案審議」

第32号議案 令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

(午後 3 時 00 分開会)

○教育長

ただいまから、令和 6 年第 2 回教育委員会臨時会を開会いたします。

本日は、中学校教科用図書採択の審議を行いますので、大田区教育委員会会議規則第 14 条により、教科用採択関係職員も出席しております。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に北内委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第 1 について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第 1 は、8 月 7 日の定例会、8 月 8 日の臨時会に引き続き、「令和 7 年度使用大田区立中学校教科用図書採択について」でございます。

○教育長

8 月 7 日の定例会では、国語、書写、社会（地理）、社会（歴史）、社会（公民）、地
図、数学の 7 種目について審議いたしました。

また、8 月 8 日の臨時会では、理科、音楽（一般）、音楽（器楽）、美術、保健体育、
英語、道徳の 7 種目について審議いたしました。

技術と家庭については、8 月 8 日に審議を予定しておりましたが、審議対象の教科書の一部の画像を削除、修正するという情報を得ました。その内容について確認する必要があるため、8 月 8 日には審議を行わず、別途行うことといたしました。

このたび、教科書会社からの削除の訂正申請が、文部科学省の承認を受けたという確認が取れましたので、本日は技術・家庭（技術）、技術・家庭（家庭）について審議を行います。

それでは、初めに、技術・家庭の技術について審議を行います。

委員の皆様、ご意見をお願いいたします。

○三留委員

技術・家庭科、技術分野におきましては、東京書籍を推薦いたします。

技術は、生徒にとって中学校で初めて履修する学習になります。冒頭に技術についての丁寧な説明が必要です。そのため、どの社も、生徒の実態を考慮して、教科書の最初に案内、紹介的なことについて示しています。

東京書籍は、技術分野のガイダンスを掲載していますが、技術の役割やよさ、未来社会との関わり方について興味深い記述が見られます。よいと思ったのは、技術の見方、考え方のページで、必要な視点に着目して、技術を最適化することについて、生徒にも分かりやすいように漫画等を活用して丁寧に説明しています。必要なことと思いました。

また、各社、技術分野における課題解決学習を大切にした構成になっています。どの社も技術分野の課題解決学習の方法を冒頭に掲載していますが、東京書籍のページはシンプルで分かりやすいと思いました。「技術分野の流れ」のほか、タブレット端末やインター

ネットの活用、思考ツールの活用、まとめと発表の仕方など、大事な事柄がきちんと示されています。必要なとき、いつでもこのページに戻って、学習の確認をすることも大切なことと思いました。

各教材のページでは、課題と設定に関わって、各社に特色があります。

東京書籍は、「レッツスタート」という囲みで、学習課題につながる活動を示唆しているのがよいと思います。

また、「めあて」として、その時間の目的のみを記述している社、学習目標を幾つか示し、さらに学習課題を二つ前後、示している社があります。

東京書籍は、目標が1ないし2、課題は1となっています。私は、基本的に1単位学習1課題が原則と思っていますが、そうになっているのは東京書籍だけです。そうでなければ質の高い課題解決学習にはならないと思っています。

目標には、達成できたかどうかチェックができるようになっており、課題も練られたものとなっていると感じます。

東京書籍は、ガイダンスの中に「技術分野の学習を始めよう」がありますが、各社でも扱う「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」の四つの学習のほか、最後に総合的な課題解決の学習があるのが、他社にない特色です。

未来をつくるためのイノベーションに取り組むことを目指して、四つの学習で学んだことについて、総合的に問題解決をする取り組みになります。生徒が問題に取り組むための問題解決例も示されています。各章にも「問題解決例」というページがあり、自主的に技術や栽培等に関わる問題解決を促しています。

教科用図書調査委員会の資料に、「東京書籍は、問題解決のプロセスについて、新たな問題の発見の段階を明確に定めており、学びの連続性が示されているため、小学校における『おおたの未来づくり』との親和性が高い」とありますが、技術の問題解決的学習を進めるのであれば、東京書籍が適していると考えます。

技術で学んだことを生かして、生活の向上や社会貢献につながる問題解決的な学習をすることについては、大田区のこどもにぜひ体験させたいと思いました。

製作・栽培に取り組むときの基礎技能を記載した「テックラボ」というページがあるのも東京書籍の特色です。「材料と加工の技術」「生物育成の技術」に関わるページでは多くありますが、ここでの写真やイラスト、解説が分かりやすく、生徒の実習のときの参考になります。

「情報の技術」の学習では、コンピューターの仕組みや、情報のデジタル化、情報モラルについて適切に示されていると感じました。

「エネルギー変換の技術」の学習では、「技術の扉」というページが多くあります。他の学習にもありますが、学びをより深めるページです。「発電方法の最適化」「電気エネルギーを変換して利用する仕組み」など、興味深い内容が多くあります。

四つの学習のあとに載せられている「編末資料」も充実しています。「すごいぞ技術」と題して、技術に関わる興味ある事例が掲載されています。

さらに、技術の匠として、事例にかかわる一線で仕事をしている方々の声もあり、学校意見の中に、「生徒の勤労観、職業観を育む工夫が施されている」とあるように、生徒が技術と社会との関わりについて考える、よいページだと思いました。

各社、「技術分野の出口」などの表記で、3年間の学習を振り返るページがあります。東京書籍の巻末には、「技術分野の学習を終えて」があります。技術分野の学習を振り返り、学びを広げて、学んだことを社会に生かすという構成がよいと思います。さらにコンピューターの様々な使用方法、プログラミングなどについてもよくまとめられていると思いました。

各ページの下の部分に帯のようにしている「技術の工夫」という読み物もよくつくられていると感じました。

東京書籍は、QRコードがほぼ全ての見開きについて、「動画」「シミュレーション」「思考ツール」などのデジタルコンテンツも充実しています。学習に活用してもらいたいものが多くありました。

以上が東京書籍を推薦する理由となります。

○高橋委員

技術では開隆堂出版を選びました。

表紙見開きで「ひみつ道具は実現している？」と、ドラえもののひみつ道具と現在使われているものを対比させて生徒の関心を高める工夫があります。

ガイダンスでは、「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」の内容について、身近にある冷蔵庫を通して、分かりやすく考えたり、スプーン、はさみ、ボールペンなどの身の回りにあるもので技術の見方、考え方を示している。

学習の流れは漫画で進め方がイメージでき、効果的な学習につながる。「コンピューターやスマートフォンなどを使うときに注意すること」など、大切な学習が丁寧に示され、興味・関心を持ちながら学べます。

單元ごとに色分けされ、導入は大きな写真とその説明があり、「身の回りの技術に気づこう」、「学習の流れ」、「小学校や他教科とのつながり」、「見方・考え方・例」などを示し、これから学習する見通しが持てます。

下段には、豆知識や振り返りができるチェック欄があり、生徒自身の確かめができる。製図や製作は実習例も多く、手元の写真、イラストで分かりやすく、見やすくなっています。手書きのワークシートの例は、取組の参考になります。「読み解こう」「問題解決の評価・改善」「学習のまとめ」があり、振り返りができます。

巻末には、命を守る防災、医療介護の技術の紹介があり、社会の抱えた問題、技術による解決の例を示し、これからも考えさせる工夫があります。

教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されました。

以上の点から、開隆堂出版を推薦します。

○北内委員

技術・家庭（技術分野）は、開隆堂出版を推薦します。理由は、各課題の学習の流れが、生徒にとって分かりやすく構成されているからです。各小単元の始まりで「学習の目標」「学習課題」が示され、学習の目的が明確にされています。そして、各大単元での「問題解決の流れ」では、問題解決のための一連の流れ、問題の発見と課題の設定、構

想・計画、実習、評価・改善を丁寧に説明し、実習例を図と写真を用いて分かりやすく表現されています。生徒にとって、理解しやすいと思いました。

その他、エネルギー変換の技術と情報の技術をかなり詳しく、丁寧に説明されている点例えば、発電機のしくみ、発電方法の種類と特徴では、火力発電、原子力発電（加圧式）、水力発電、風力発電、太陽光発電、バイオマス発電、地熱発電、コンバインドサイクル発電、ガスコージェネレーションシステム、揚水発電について、模式図を用いて説明。電気エネルギーを光、熱、動力へ変換するしくみと特徴。情報通信ネットワークのしくみ、情報セキュリティ、情報モラル、知的財産の保護と活用などを挙げるすることができます。また、人工知能（AI）による創薬や介護ロボットなど、最新の話題を取り入れている点、プログラミング言語の種類として、最近流行りの Python を載せている点、学習の内容ごとに、関連する人々の就業へのきっかけと中学生へのメッセージのインタビューが掲載され、生徒の職業観を深める工夫がされている点も推薦理由に挙げるすることができます。

巻末の「技術分野の出口」では、さまざまな技術を組み合わせたシステムを紹介し、統合実習例として、エネルギー変換の技術と情報の技術を組み合わせた、目の不自由な人が安全に外出を楽しめるデジタル白杖（はくじょう）、生物育成の技術と情報の技術を組み合わせた、ミニ植物工場—コマツナの苗の育成、エネルギー変換の技術と情報の技術を組み合わせた、自動運搬ロボットモデルの構想を詳しく説明されています。本区ではものづくり教育・学習フォーラムなど中学生が発表できる機会があるので、様々な実習例が掲載されている点も良いと思いました。

区民意見は拮抗しましたが、学校意見は開隆堂に肯定的です。

以上から、私は開隆堂出版を推薦します。

○深澤委員

私は東京書籍を推薦します。

大田区では、令和7年度から小学5、6年生を対象として、大田の独自教科、おおたの未来づくり実施を目指していますので、中学生の教科書でもおおたの未来づくりの目標である未来を創造するための見方、考え方を働かせるという観点からの支援が大切ですが、東京書籍は、技術分野における姿勢として、技術は夢をかなえるためにある、技術の見方・考え方は社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性の視点から考えることを掲げており、ものづくりを通して、自分や人々のウェルビーイングを実現していくという点でおおたの未来づくりの目指すところと同じであるところがよいと思いました。

内容面についてですが、東京書籍は全ての単元に共通して、第1章では生活や社会を支える技術について説明し、第2章で問題の発見と課題の設定について考える構成になっていますが、見開き1ページの問題解決例はいずれも3例ずつ掲載されているので、問題への気づきや、どのように問題を解決していくというような視点が多々示されており、よいと思いました。

第3章では、技術の最適化と持続可能な社会を構築するために必要なこれからの技術について紹介されていました。技術は、中学生の工夫や創造力を養うことができる科目です

が、東京書籍は全ての単元において、ものづくりを通して課題の設定と問題解決を行う構成になっているので、中学生の工夫や想像力を養うのに最適であると考えました。

また、東京書籍では、全ての単元の終わりに持続可能な社会のためにどのような技術があるとよいかについて話し合い、文章に書いて表現する学習が用意されていました。文章に書いて表現する学習の結びは、「私はこのような理由からこの技術を開発したい」という定型文章を自分の言葉で埋めていく形式になっているので、生徒たちが持続可能な社会形成について、自分事として捉え、また意欲を引き立てる作りとなっていて大変よいと思いました。

区民意見で、東京書籍にはこれからの社会をつくっていくために身につけておきたい思考のエッセンスが詰まっているように感じた、とありましたが、私もそのように感じました。

以上の理由から、技術については、東京書籍を推薦いたします。

○弘瀬委員

技術・家庭の技術分野に関しましては開隆堂出版を推薦します。家庭科では、技術分野も家庭分野もできるだけ内容が分かりやすく、そして手順が分かりやすく書いてあるものを選びました。

まず、技術においては、構成は学習の目標、学習課題、学習内容の本文、チェックとなっていて分かりやすいと思いました。

学習課題の問いかけに対し、それを理解、解決するために必要な情報を分かりやすく掲載し、最後チェックで振り返っています。技術の見方・考え方を理解するために、ねらいや要求について「wants」を使い、安全、経済、環境について考えるようになっています。

多くのアイコンマークがあり、小学校で学習した分野、あるいは豆知識に学習内容に関連した興味深い内容が掲載されていました。材料と加工の技術では、歴史的建造物からどのような視点にたち、どのようなところが工夫されて、現在の技術に発展してきたかを分かりやすく解説していました。

身の回りの材料と加工の技術に気づこうで水筒の歴史が挙げられていました。端的で非常に明快な説明がされていました。いろいろなワークシートを用意して、見方考え方を定着させ、問題解決に導くことができました。動画や資料などたくさんのコンテンツが掲載されていて実習を深めることができました。

地域につながる技術の話題、例えばスカイツリー、11階建ての木造の建築ビル、3Dプリンターで作られた住宅などが取り上げられています。これからの若者にとってこのような建物は未来を創造するものにつながると思います。多彩なQ&Aがあり、非常に詳しく解説が載っていて、勉強になりました。

プログラミングロボットの開設者をはじめ、多くの人のお話が掲載されていて、色々な技術に関わっている人を知ることは将来の方向性を考える上で参考になると思いました。

以上から、開隆堂出版を推薦いたします。

○教育長

私は技術・家庭の技術分野につきましては、「テクノロジーに希望をのせて」というタイトルの開隆堂出版がよいと思いました。

私は、ものをつくったり、仕組みを築いたりする技術の学習では段取りとか工程というものが大変大切になってくると思います。開隆堂出版は、木工製作や栽培、エネルギー交換による問題解決、プログラミングなどの学習において、問題発見、課題設定、設計、製作、評価・改善とその手順や段取りがより明確になっているように感じました。技術の教科としての特色や面白さを満たせる教科書になっていると感じました。

また、教育委員会では、小学校で学んだ、おおたの未来づくりを中学校においてどのように展開させていくかということも大切なところだと思いますが、技術科における問題発見から開隆堂出版の教科書に掲載されている課題設定、設計、製作、評価・改善という学習のサイクルは、中学校における新たな教科おおたの未来づくりに大きく活用できるものではないかと考えました。

それでは、審議のまとめをいたします。

技術・家庭（技術）においては、東京書籍を推す意見もございましたが、開隆堂出版の評価が高かったということでまとめてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

○教育長

それでは、技術・家庭（技術）については開隆堂出版といたします。

続いて、技術・家庭（家庭）について審議いたします。

委員の皆様のご意見をお願いいたします。

○三留委員

技術・家庭科、家庭分野につきましては、採択が延期されたこと受け、慎重に検討した結果、当初の考えどおり開隆堂出版を推薦することといたしました。

家庭科の教科書はどの社も生活の自立を促し、社会とのつながりを重視した「自立と共生」をテーマに教科書づくりをしているように感じました。開隆堂出版の「自立し共に支え合う」というコンセプトは、家庭科教育にとって大事な視点だと思います。

各社、学習指導要領の記載に沿って、およそA家庭と家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の順に構成されています。どの社も巻頭ページやガイダンスに工夫が見られます。

開隆堂出版は、ガイダンスが充実していると思いました。家庭分野の学び方と、身に付けたい力として、主体的、対話的で深い学びに関わって、どのような活動をすればいいのか、どのような力がつくのかを明確にしています。

開隆堂出版の家庭分野の教科書については、各ページの目標が、ほぼ一つになっていて、これを意識して、生徒と共に、課題を設定にして授業が進めることで、課題解決的な学習を深めることができると感じました。

衣服の単元では、「どうして衣服を着るのだろうか」とか「衣服は何でできているのだろうか」という課題とも言えるタイトルがありますが、各時の課題は、文章として示すべきとも思っております。

各見開きページにある問いも、課題設定につながるかどうかの検討が必要とも思います。

単元学習という観点から、開隆堂出版は、単元の導入のページの写真が大きく、興味を引くものが多いと思いました。

開隆堂出版は、調理などの実習例が豊富に掲載されています。写真や横流れに示した調理の手順などを示して、出来上がりや過程が分かりやすいと感じました。

制作に関わる学習内容も多様に記載されています。衣生活の単元では、「布の種類や道具の名前」「裁断から手縫い」「ミシン縫い」まで、丁寧に学習した後、実習につなげていきます。製作物として、「タブレット端末ケース」「非常用の持ち出し袋」など、身近に必要なものを、例として示しているのも良いと思いました。

各ページのタイトルの下には、導入の活動が明示され、授業づくりにも活かせると思いました。

様々な単元の中で、「参考」というコラムがあって、関係する話題が載せられているのも良いと思いました。

中学生も被害に遭っているということで、消費単元における消費者トラブルに関わる各社の記述を比較しました。

他社が「消費者トラブルを防ごう」という投げかけから入っているのに対して、開隆堂出版は、まず、消費者の権利と責任について考えさせた後、中学生の消費者被害を含め、悪質商法の主な例を図解で解説しています。中学生が自立した消費者として、被害にあわないために、きちんと学ばせておきたい内容と思いました。

各者の教科書の終わりには、「生活と課題の実践」のページがあります。開隆堂出版では、学習の流れに沿って、課題解決のための手だてが分かりやすく記述されています。

各ページの脚注部分にある「豆知識」は、学習と関連した役立つ内容が端的に示され、参考になります。

基礎技能、調理、製作実習に関わるデジタルコンテンツも充実しています。

学校意見の中に、「イラストや図解が豊富であり、文章把握が苦手な生徒も理解しやすい」とありますが、全体的に図解・写真などの資料と文章のバランスが良く、分かりやすい教科書と捉えました。

今回、衣服の単元で、「衣服の働き、自分らしさや個性を表す」という掲載資料に関わって、検討が必要ということで採択が延期になりました。この部分については、先ほど、教育長も話していましたが、文部科学省に削除の承認申請が行われ、承認されて削除になることが明らかになりました。

改めて、「自分らしさや個性を表す」ということについては、周囲の人々の人権や生き方、思いなどを大事にすることが前提であることを、多文化共生を目指す大田区のこどもたちには、伝えていきたいと感じました。

全体的に開隆堂出版は、分かりやすく、授業をしやすい教科書と捉え、推薦することといたしました。

○高橋委員

家庭は、開隆堂出版を選びました。

家族、家庭生活、衣食住生活、消費環境の單元ごとに色分けがあり、分かりやすい。導入では、写真とイラストで、学習の指導をしやすくさせる。ガイダンスでそれぞれの場面をイラストで示し、イメージで学習につながられます。下段には、豆知識、右ページ上には、單元テーマごとの写真を載せ、学習に活用できます。

また、主体的、対話的、深い学びについての表し方と、身につけたい力を示し、取り組めるようになっていきます。各單元の中でも、「話し合ってみよう」、「発表しよう」、「考えてみよう」、「やってみよう」があり、学習できます。SDGsについても、單元ごとに学習できるページがあります。

「参考」は、学習に活かせる、中学生の先輩からの例で身近に考えられる内容です。

1日にとりたい食品と分量では、実物大の写真でイメージしやすい。

「調理の学習」では、調理前に知っておきたいポイントをまとめ、調理の基礎、生鮮食品の選択と保存、肉の特徴と調理の必要な学習の後、調理実習に進むようにしています。実習の手順も丁寧に示されていて、写真で順序良くできるようになっています。

「調理方法Q&A」でも理解しやすくなっています。日本各地の郷土料理も地域で採れる食材を使った料理が、色分けした日本地図から探せるように紹介しており、興味深いです。

「裁縫」では、制作の基礎・基本を写真・イラストで丁寧に学ぶなどで、実用的な生活が示され、取り組むことができます。

「私たちの防災」では、防災について学ぶ教材があります。事前の備え、災害発生時の対応、生活の立て直しなどに分け、個人の家族、住民組織、市町村、都道府県、国などがすべきことを一覧表にし、確認でき、中学生としてできることを考えるきっかけになります。

「消費生活で消費者の権利と責任を考えよう」では、イラストで考えられるように示されていて、8つの権利と5つの責任が、事例とイラストから考えられます。

「生活の課題と実践」は、取り組み方が示されていて、学習できます。

ワークシートには、生徒の記述がと書きであり、活用できます。

「世界の視野を広げて」は世界の生活・文化、いろいろな科学、プラスチック汚染などがあり、興味・関心が持てます。

教科書への掲載が、適切でない写真を削除すると訂正申告がなされ、承認されました。教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されました。

以上の点から、開隆堂出版を推薦します。

○北内委員

技術・家庭（家庭分野）は、開隆堂出版を推薦します。

冒頭、教育長、教育長職務代理者からもありましたが、報道された「個性的な服装の一例として掲載を予定していた人物の写真」については、文部科学省より削除承認済みである旨、開隆堂から公開されています。この削除によって、本教科用図書全体の内容に大きな影響はないと判断しました。

その上で推薦理由は、各課題の学習の流れが、生徒にとって分かりやすく構成されているからです。各小単元の始まりで「学習の目標」が示され、学習の目的が明確にされています。また、カラフルな写真と図を用いて、丁寧に説明されています。生徒にとって、理解しやすいと思いました。本区では、地域力をいかしたまちづくりを推進していますので、家庭・家族・地域とのかかわりを詳しく説明されている点も良いと思いました。その他、ヤングケアラー、児童虐待など、最近の話題を取り入れている点、こどもの権利条約、こどもを守る法律について、明記されている点、災害、防災、平常時からの備えについて、述べられている点、中学生の消費者被害について、具体的に述べられている点、デジタルコンテンツが充実している点も推薦理由に挙げるすることができます。

区民意見は拮抗しましたが、学校意見は開隆堂に肯定的です。

以上から、私は開隆堂出版を推薦します。

○深澤委員

私は、家庭分野については、東京書籍を推薦します。

家庭分野は、毎日の生活に関わり、日々の心がけはその人の生き方にも通じていきますので、家庭分野における見方・考え方はとても大切です。

東京書籍では、それぞれの単元で、持続可能な社会の観点から、私たちにできることは何だろうかという学習課題を設定していた点が良いと思いました。

具体的な内容についてですが、東京書籍は、どの単元でも、手順が分かりやすいのが特徴的でした。調理実習では、絵を交えた解説で、作り方が分かりやすく、掲載されている食事の写真がどれもおいしそうでした。

食生活の単元では、1日に必要な食品の摂取量が実物大の食品の写真で紹介されており、視覚的に分かるような工夫もされていました。

消費生活に関する単元では、意思決定のプロセスが詳細に視覚化されていました。自転車を購入するシミュレーションのコーナーがあり、安い色が決まっている自転車、メンテナンスがつかない自転車など、どの自転車にも難点がある中で、自分が自転車を購入する目的に照らしてどのような条件が必要かという観点から考えていくと、商品選択の道筋が見えてくるという説明がされていました。

日々の暮らしの中で、何気なく商品を購入しがちですが、意思決定のプロセスを意識することで、目的意識、お金の大切さなどを学ぶことができ、こどもたちのこれからの人生にとって、大切な学びであると思いました。

以上の理由から、家庭分野については東京書籍を推薦いたします。

○弘瀬委員

家庭分野について、教育長ならびに三留委員からの説明がありましたように、今回、私も十分考慮し、総合的に考えた結果、開隆堂出版を推薦することにしました。

4人のキャラクターとナビゲーションキャラクターと一緒に興味・関心を持って、問題解決と学習が進められています。

家庭分野の学び方と身につく力で生活の見方・考え方がはっきりしてきます。身につく力とは「ひと」に関わる力、「もの」に関わる力、「こと」に関わる力です。

学習のまとめでは、記述問題が設定され、振り返りを自分の中で考えをまとめ、表現する力をつけることができました。

様々な換気方法では、窓と換気の関係から、効率的な換気がどれかを具体的に図を見て理解することができて、非常に有効だと思いました。特に、このコロナ禍において換気が非常に大事だということを理解する上でもわかりやすい解説だったと思います。

また、おいしそうに見える写真、そして、豊富な調理実習の内容が載っていること。調理の手順に調理方法のQ&Aが載っていて、分かりやすい。なぜ塩をふるのか、なぜ小麦粉を塗すのか、なぜ強火にするのかなど、おいしくするためには、どのようなことが必要なのかが分かる内容になっています。

目に見えない栄養素を見ようは、動画を通して理解を深めることができました。食べ物は、体の中でどうなるのかを見ようなども理解を深め、楽しく実習をすることができます。アレルギー物質を含む食材を調理例ごとに示していて、安全に配慮されていると思いました。

いろんな取り組み方の例では大谷選手の取り組みを示して、生徒が関心を持って学習に取り組めるように工夫していました。

また、防災教育では、平時からの備えと災害発生時の対応について、特設ページを設けて説明していました。近年、気候変化などにより様々な災害に見舞われますが、このような災害に対する理解を深めることが重要であると考えています。

「消費者の権利と責任を考えよう」では、多くの事例やイラストを基に考えるようになっています。消費者の8つの権利と5つの責任は大変勉強になりました。

またキャリア教育につながる多くの人のインタビューメッセージが紹介されていました。

最後に、ファイルカバー、タブレットケースなど、特別支援に配慮して、作業手順が統一されていて安全に作業ができるものが載せられていることは非常に重要と考えました。

以上から、家庭分野は、開隆堂出版を推薦します。

○教育長

私は、開隆堂出版が良いと思いました。

開隆堂出版は、家庭について考える学習から始まっていますが、内容が充実していると思いました。様々な家庭のあり方や幼児の生活・発達など、家庭について考えを深める学習から入っているところが良いと思いました。

現在、消費者の中で、家庭のあり方が大きく変化して、多様になっていくと思います。その中で、家庭はどのような役割を果たし、自分は、家庭の中でどのように成長してきたのか、自分自身を振り返り、家庭について考えを深めることは、これから将来にわたって、生徒が、家庭生活を営んでいく上で基本となると思いました。

また、家庭と地域との関わり方について考える内容も、生徒たちのこれからの生活にとって大切なことであると思いました。

また、開隆堂出版は、衣食住の食についての内容が充実していると思いました。食に対する知識や調理の技能は、男女問わず、生活にとって大変重要になってきています。開隆堂は、調理の実習例が大変豊富で、生徒の作ってみたい、食べてみたいというような意欲を引き立てるものになっているのではないかと思います。

また、包丁の使い方など、おいしく調理するための具体的な調理方法についても、詳しく写真等で示して、実践できるようになっていると思いました。

衣食住の意義におきましても、生活に生かせる情報や技能が示された、実生活に役立つ内容になっていると感じました。

また、衣食住の住については、快適に暮らすための方法について考える学習、実生活に生かせる工夫、生かしていくことができる学習ができるのではないかと思いました。

それでは、審議のまとめをいたします。技術・家庭につきましては、開隆堂出版が最も評価が高かったということで、まとめてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○教育長

それでは、技術・家庭の家庭につきましては、開隆堂出版といたします。

以上で、令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択の審議は、終了といたします。これまでの審議内容について、議案として提出し、直ちに審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、15分間、3時59分まで休憩といたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、3時59分まで15分間、休憩を取ります。

○事務局職員

事務局からご案内いたします。お手洗い等で一時会場の外に出られる方は、再入場の際に改めて傍聴券を確認させていただきますので、傍聴券をお手元にお持ちの上、退場をお願いいたします。

再度、会場にお戻りにならない場合は、傍聴券を回収させていただきます。これをもって退出される方は、出入口の係員へ傍聴券をお返しく下さい。よろしく願いいたします。

(休憩)

○教育長

それでは、再開いたします。

続いて、日程第2について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第2は、議案審議でございます。議案を読み上げます。

本日の教科書採択の審議を受けて、議案の追加提出がありました。第32号議案 令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択についてでございます。

○教育長

それでは、議案審議に入ります。

本日の第2回臨時会でご審議いただきました、中学校教科書採択に関する追加議案第32号議案の審議をしたいと思います。

では、第32号議案について、事務局から説明をお願いいたします。

○教育総務課長

第32号議案 令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について、説明させていただきます。

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書につきまして、7月22日の第7回教育委員会定例会において、教科用図書調査委員会委員長、副委員長から調査報告をいただき、8月7日の第8回定例会、8月8日の第1回臨時会及び本日の第2回臨時会において、ご審議をいただきました。

ここで、本案を議案として提出し、令和7年度使用大田区立中学校教科用図書の採択をお願いしたく存じます。中学校教科用図書の選定については、次のとおりです。

技術・家庭（技術）、開隆堂出版株式会社、「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」。技術・家庭（家庭）、開隆堂出版株式会社、「技術・家庭 家庭分野 自立とともに支え合う生活へ」。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○教育長

それでは、令和7年度使用大田区立中学校教科用図書について、ご意見はありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（「なし」との声あり）

○教育長

それでは、第32号議案については、原案どおり決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

○教育長

それでは、第 32 号議案については、原案どおり決定いたします。

これをもちまして、令和 6 年度第 2 回教育委員会臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。

令和6年 第2回 教育委員会 臨時会 8月30日(金) 午後3:00～

池上会館 集会室

<令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（教育施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

<議案審議>

（追加提出予定）

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

令和6年8月30日

令和6年第2回教育委員会臨時会日程

日程第1 令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択
について

日程第2 議案審議

(追加提出予定)

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択
について

第 32 号議案

令和 7 年度使用大田区立中学校教科用図書採択について
上記の議案を提出する。

令和 6 年 8 月 30 日

提出者 大田区教育委員会教育長 小 黒 仁 史

令和 7 年度使用大田区立中学校教科用図書採択について
別紙のとおり決定する。

(提案理由)

令和 7 年度に大田区立中学校で使用する教科用図書を採択する必要があるため、
この案を提出する。

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書

種目		発行者	書名
国語		光村図書出版株式会社	国語
書写		光村図書出版株式会社	中学書写
社会	地理	株式会社帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
	歴史	東京書籍株式会社	新編 新しい社会 歴史
	公民	東京書籍株式会社	新編 新しい社会 公民
地図		株式会社帝国書院	中学校社会科地図
数学		東京書籍株式会社	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
理科		東京書籍株式会社	新編 新しい科学
音楽	一般	株式会社教育芸術社	中学生の音楽
	器楽	株式会社教育芸術社	中学生の器楽
美術		日本文教出版株式会社	美術
保健体育		株式会社Gakken	新・中学保健体育
技術 家庭	技術分野	開隆堂出版株式会社	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
	家庭分野	開隆堂出版株式会社	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
英語		株式会社三省堂	NEW CROWN English Series
特別の教科 道徳		日本文教出版株式会社	中学道徳 あすを生きる